

# あ　る　座　談　會

小　　石

新築校舎の掃除の行き届いた一室、大テーブルを圍んで二十人ほどの集ひ、白百合とピンクのカリネーションが夢のように香つてゐる。座談會である。時は十二月のはじめの或る日。

今日の宿主のN校長はおだやかな調子で、

「展覽會をご覧になりましたか」

この展覽會は區内の御大禮奉祝兒童製作展覽會で、この座談の開かれる三日前から開會して、此日の四時までといふことになつてゐる。一同の見たといふ答を聞いてN校長は、

「あれに就ての御批評を伺ふのが今日の主な目的なのですが、その邊から御順に願ひませう。」

A「製作品に就て承りたい事がございますか、質問でもよろしうございますか」

N校長「どうぞ、質問も御意見も結構です」

A「では伺ひますがS園の毛糸を剪つて線畫の中をうめてあるあの畫の経過を伺はせて下さい」

B「年長の幼兒少數が線畫もバックも描きました、年少兒の剪た毛糸を使って線畫の中を年長の畫を描いた子達が中に糊をぬつて其上に毛糸をうめました、構圖は勿論幼兒です」

A「あの製作に携つた幼兒の數はどの位でございますか」

B「線畫をしたのが年長兒三名で毛糸を剪つたの

は多数です」

A 「ありがたいうございました、よくわかりました。」

C 「J園の實物大の果物は彩色も幼児がしたのですか」

J 「年少の組でしたから色は幼児ではありませぬ」

C 「幼児でないと仰言ると先生と存じますが、それを先生でなく年長兒に彩色させたらいかげなのでせうか」

J 「よい事を話して下さいました、さうすれば年長兒の果物觀察も出來ますし、小さい人の仕事の手傳ひといふ意味からしても意義のあることと存じます、今度實行して見ませう」

D 「只今のお説は結構とは存じますが、たとへ年少であつても、結果はぶざいくでも、自分の仕事は自分で完成させる、完成させた責任を負ひ

了せたといふ目的到達の喜を味はるのは教育上大切な事ではないのでせうか、年長兒が製作の仕上げをして手際よい結果を残すよりも、まだらで、ぶざいくでも年少兒自身に終りまでさせたいように私は思ひます」

F 「目的といふ事も大切には違ひありませんが、彩色したとか出來上つたといふ事よりも、形を作つてゐる事、色を塗つてゐる事、作る事、塗る事、その道程を樂むので、幼兒の生活はそれではないのでせうか。」

G 「Dさんのお説もFさんのお考も兩方とも大切だと私は思ひます。しかしどちらか一つにのみ偏す事は考へものだと思ひます、ことに年少兒にとつてはFさんのお説が最も適切なものであり、年長兒にとつては時にはFさんの仰言る道をたどらせ、時にはDさんのお説のようにしなければなるまいと存じます、けれど私はこの外

にCさんのお説を相互的交渉といふ意味に於て、年長年少の區別によらず、或一つの仕事を二人以上のお互でする、たとへば甲が器を作れば乙がお菓子を作り丙がお盆を工夫すれば丁がお箸を作るといふようにして、自分一人では、よく出来ない仕事をお友達と一處に、それからそれへと發展させ、充實させて行く事は子供達にとつて愉快でしかも善い事ではないでせうか、かふいふ意味で協同製作は大層よいと思ひます」

W「協同製作といふお話が出ましたから一言所感をいさせて頂き度うございます」

校長「どうぞ。」

W「方々で協同製作といふ事を伺ひましたが、今度自分の所で爲て見てはじめて、協同製作のどんなに善いかといふ事を深く感じました、あのお菓子を作るのにもはじめはたゞお菓子屋だけ

生お菓子屋さんには工場がありますよ、ぢや工場も作りませう、そして工場には煙突がたつてゐます、と、成人の思ひつかない事まで子供獨特の觀察でどん／＼計畫をして行きました、爲ない前に案じた事はさほどでなく、よい結果を得たので、これからは出来る丈協同製作をしようと思ひました」

「H園の人数のお室も協同製作ですか、何時程かかりましたか」

H「あれは女兒の協同製作です、一週間程かかりました、其間毎朝來るとすぐ出来かけの室をながめてゐます」

K「協同製作のお話が出ましたが、それは幼兒の個人性を無視してはゐないでせうか、十人の幼兒に興味があつても一人の幼兒に響鳴がない時、そして其の一人が強い時、其一人を強いて十人の興味に引き入れる事は出来ず、強い其の

子の性格が他の十人も二十人も、協同作業を壊してしまふ事があります、無理に協同させるよりも其の子、其の子の性格に依て導く事が大切と思ひます。」

M 「幼児の個性と協同製作とは反対なものではないと思ひます、甲は甲の興味即ち甲の性格の傾向に従つた方面へ發展し、乙は乙の性格の傾向に従つた方面を擔當すればそれでこそ協同製作も、個性教育も充實して行くのではないでせうか」

K 「しかし事實私の處では少數ですが、其の子の爲に他の協同製作はいつも破られてしまひます」

M 「それは、其の少數の幼児がまだ群團生活をする時期になつてゐないのか、わがままなのかどちらかではないのでせうか」

K 「大層わがままで、家庭でも困つてゐるさうです」

O 「さういふ特殊な子は特殊な方法でなほす必要がありはしませんか」

K 「特殊な方法と申しますと？」

O 「たとへば、お友達と仲よく遊べない子は、一人で遊ぶなさいと云て一人きり室に入れて置いたりしたら」

K 「さうすれば家へ歸つてしまひます」

O 「勿論特殊な方法をとる事の爲には家庭の了解を得てよく打合せをしてからでないともなりません、そして協同の愉快さその興味を何かの機會又は動機で味はせるように保姆が努力しなければなりません」

K 「お話はよくわかりました、けれど私の園では商家が多く、お母様達が教育に就ての理解がなくて困ります。」

N 校長 「家庭と學校との連絡は教育上の大きい問題です、目を改めて研究する事も可いと思ひま

す、今日は展覽會に就ても少し御意見を承りませう。」

S 「意見といふ大した事ではありませんが、大急ぎで一通りしか拜見出来なかつた者の、一寸の感想を申上げてみれば幼稚園製作として協同作業の多かつた事が、まことに結構だと思ひます、これは幼稚園に於て、もつと研究され、もつと發展し得るように思はれます、私の見誤りかもしれません、一つ遺憾に思つたのは、折角、幼稚園で個性充實協同發展と努力してゐるにも係らず、さういふ保育を受けた幼児が入學する小學校に於て、一年生の製作を拜見すると、すく／＼伸びた芽が缺で剪り落されてゐるような感じが致します。私共はもつと低學年の先生方と協力して、伸びた芽に葉も蕾も持たせるようにしなければならぬ、今の有様では一年生の、附屬時代に於ける、幼稚園生活があまりに無視

されてゐるように思ひます。此事に就ては第一私共も、小學校を理解しお互に共鳴しなくてはならないと思ひます—

N 校長「小學校との連絡は、之亦幼稚園教育上の大きい問題です、他日研究の參考として他にも何かお考があつたらお話し下さいまし」

宿主が心づくしの暖いコホアの香がたゞよふ頃早や短日は傾いて點燈された。大河を行く船の汽笛が夕もやを破つてひびいた。小學校との連絡問題に就てはS氏と同感が多くて、他の感想は出なかつた。

序に記す、この展覽會に出品されたS園の唐紙へ描いた線畫はクレイヨン畫の表さない世界をさび／＼と發表してゐた。

なほ自然物に接する事のまれな且園、J園に巧みな自然物利用の製作のあつたのは、保姆の先生方の絶えざる御努力と實に感謝に堪へなかつた。